

キッピー山の生き物図鑑

有馬富士公園でいま見られるいきもの

あき

ふゆ

秋・冬のしょくぶつ

兵庫県立有馬富士公園で9月～12月に開花・結実が見られる植物を紹介しています。
(植栽された植物を含んでいます)

「見られる場所」の番号は、公園地図(トップページからダウンロードできます)に示された番号におおよそ対応しています。また「時期」はよく見られる開花・結実時期ですが、年によって変動することがあります。



アラカシ



スダジイ



シラカシ

いろいろなドングリ

ドングリはブナ科の果実の総称ですが、とくにカシ・ナラ・カシワなどコナラ属の果実に限定して呼ばれることが多く、クリ・シイ・ブナの果実は外されることがあります。

ドングリが熟す時期は、種によって開花した年の秋に熟す種と、翌年の秋に熟す種とがあります。

コナラ：開花した年 9月下旬～10月中旬
クヌギ：開花の翌年 10月上旬～下旬
アベマキ：開花の翌年 10月上旬～下旬
ク リ：開花した年 9月下旬～10月中旬
アラカシ：開花した年 11月下旬～12月上旬
シラカシ：開花した年 11月下旬～12月上旬
スダジイ：開花の翌年 11月上旬～下旬



ツクシハギ

見られる場所・時期：17・19. 9月中旬～10月上旬

日当たりのよい丘陵地や山地に生えるマメ科の低木。茎は斜上し、よく枝分かれする。葉は3枚の小葉からなり、小葉の先は円形か凹形。茎から長い花序が出て淡い紅紫色の花をつける。



コナラ



クヌギ



アベマキ



クリ



ヒガンバナ

見られる場所・時期:67. 9月中旬～10月上旬

土手、堤防、田畑のあぜ、墓地など人里に生えるヒガンバナ科の草本。彼岸の頃、花茎を伸ばして鮮やかな紅色の花を咲かせる。花後に葉が伸び、翌年の初夏に枯れる。中国原産の有毒植物。



アレチヌスビトハギ 見られる場所・時期:園内各所・40・39. 9月中旬～10月中旬

日当たりのよい空地、雑草地、道端に生えるマメ科の草本。秋、茎先にピンク色の花をつける。果実は3-6節にくびれた扁平な豆果で、カギ状の毛があり衣服にくっつく。北アメリカ原産。



ヒヨドリバナ

見られる場所・時期:24. 9月中旬～10月中旬

山野の草地や林縁などに生えるキク科の草本。茎は高さ1.5mになり、葉は対生。よく枝分かれした茎の先に、長さ3～5mmほどの白い小さな花が、房状に集まってつく。



ミツバアケビ

見られる場所・時期:築山広場・44. 9月下旬～10月中旬

山野に生えるつる性の植物で、他の樹木にからんで這い上がる。果実は熟すと紫色～赤紫色になり、やがて果皮が割れて開き、中に白色ゼリー状の果肉がみえる。果肉は甘く、食べられる。



ヤマボウシ

見られる場所・時期: 38・39・47. 9月上旬～10月中旬

山野の林内に生えるミズキ科の落葉高木。初夏に花が咲いた後、9月には直径1～3cmの球形の果実がしだいに赤く熟しはじめる。熟した果実は甘味がありジャムにするとおいしい。



コブシ

見られる場所・時期: 34・47・48. 9月下旬～10月下旬

北方の山地に生えるモクレン科の落葉高木で、庭や公園などに植えられる。早春に白い花を咲かせるが、秋にはピンクから赤色でこぶこぶの果実をつけ、熟すと内部から赤色の種子が顔をだす。



ススキ

見られる場所・時期: 園内各所. 9月下旬～11月上旬

日当たりのよい野原に生えるイネ科の多年生草本。茎の先端に多数の花穂をつけ、最初は赤っぽいが生きていくうちに穂全体が白くなる。茅(かや)と呼ばれ茅葺屋根に用いられる。秋の七草のひとつ。



ミヤマガマズミ

見られる場所・時期: 築山広場・37・19. 10月上旬～11月中旬

丘陵地や山地の林に生える落葉低木。葉脈は6-9対が葉の縁まで真っ直ぐに伸びる。秋、鮮やかな赤色で大粒の実をつける。似た仲間のガマズミ、コバノガマズミより実が大きく美しい。



ミゾソバ

見られる場所・時期: 28. 10月上旬～下旬

河川の水辺、湿地、溝などに群生するタデ科の草本。茎には下向きの細かい刺があり、他の植物に絡みついて伸びる。茎の先に直径4-7mmほどの薄ピンク色の花が集まって咲く。



イヌタデ

見られる場所・時期: 41・28・38. 10月上旬～下旬

野原や道端にふつうに見られるタデ科の草本。茎は斜めに傾いて伸び、先に長さ1～5cmの花穂を出し、紅紫色の小さな花を密につける。花弁はなく、紅紫色の部分はがく片。



ノブドウ

見られる場所・時期: 林の生態園・遊びの王国. 10月上旬～下旬

林縁や藪地で、つるがぶら下がるようにして生えるブドウ科の落葉つる植物。緑色の丸い果実が、秋には白色や青色、紫色、ピンクなど色とりどりに色づくが、熟しても食べられない。



ガマズミ

見られる場所・時期: 築山広場・37・19. 10月上旬～11月上旬

丘陵地の明るい林に生えるガマズミ科の落葉低木。円く大きな葉は対生し、両面とも毛があり、葉柄、若枝には毛が多い。秋に果実が赤く熟し、食用や薬用、果実酒などに用いられる。



セイトカアワダチソウ 見られる場所・時期:園内各所, 10月中旬~11月上旬
河原や空き地などに生える北アメリカ原産の多年草。高さ1-2mになり濃黄色の小さな花を多数つける。かつて全国的に大繁殖し、花粉症の元凶とされたが、虫媒花であり花粉症とは無関係。



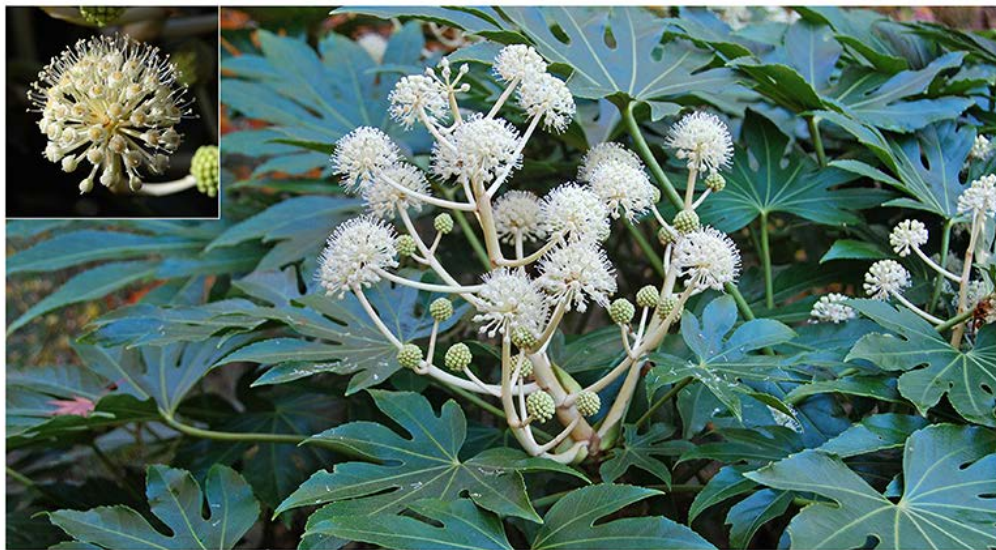
イタドリ(実) 見られる場所・時期:24, 10月中旬~11月中旬
日当たりのよい道端、土手などに生えるタデ科の多年草。雌雄異株で夏から秋に白っぽい花を咲かせ、雌株ではハート形で3稜形の果実ができる。春の新芽の茎はスカンボと呼ばれ食用になる。



アキグミ(実) 見られる場所・時期:ガーデン階段, 10月下旬~11月中旬
日当たりのよい山野や河原に生えるグミ科の落葉低木。花は春に咲き、秋には朱色から赤色の果実が熟す。果実は強い渋みがあるが生食でき、果実酒やジャムなどにも利用される。



ナワシログミ(花) 見られる場所・時期:1・2・38, 11月上旬~下旬
海岸近くに生え、公園などに植栽されるグミ科の常緑低木。秋に淡黄褐色の花が開花し、翌年の5月ごろに赤い実が熟す。葉の表面は深緑色で、裏面には褐色~銀色の鱗状毛が密生する。



ヤツデ(花)

見られる場所・時期：9・林の講堂. 11月中旬～12月上旬

日当たりの悪い林内などに生えるウコギ科の常緑低木。厚手の大きな葉は7、9、11の奇数に深く裂ける。晩秋、枝先に白い花が球状になって咲き、春には球形の果実が黒熟する。



ヒイラギ(花)

見られる場所・時期：林の講堂. 11月下旬～12月上旬

山地の林内に生えるモクセイ科の常緑樹。葉の縁が鋭いトゲになり、節分に邪鬼を払うものとして使われる。初冬に白い小さな花が集まって咲き、よい香りがする。



ソヨゴ

見られる場所・時期：築山広場・林の生態園. 11月中旬～12月中旬

山地、丘陵地の林内に生えるモチノキ科の常緑高木。晩秋に、葉の付け根から赤色の丸い実がぶら下がる。緑の葉と赤い実のコントラストが美しく、公園などに植えられる。



サルトリイバラ

見られる場所・時期：築山広場・2. 11月下旬～12月中旬

山野に生えるサルトリイバラ科の落葉つる性植物。茎にトゲがあり、他の植物などからみついで伸びる。直径1 cm弱の球形の果実が秋に赤く熟し、冬になっても残る。